全国健康保険協会 山形支部
協会けんぽ

Press　Release

報道関係者　各位

令和6年7月25日
（照会先）
全国健康保険協会山形支部
企画総務グループ　安達
電話　023-629-7226

山形支部の健診受診率、全国第1位
～被保険者は11年連続、被扶養者は14年連続～

全国健康保険協会（協会けんぽ）では、病気の早期発見を目的に、35歳以上の被保険者の方を対象に「生活習慣病予防健診」を、40歳以上の被扶養者の方を対象に「特定健康診査」を実施しております。このたび令和5年度の健診受診率について取り纏めましたので公表いたします。

山形支部における令和5年度の被保険者を対象とした健診の受診率は89.8%、被扶養者を対象とした健診は43.4%となっており、共に全国第1位の結果となりました。

被保険者を対象とした健診は平成25年度より11年連続、 被扶養者を対象とした健診は平成22年度より14年連続で第1位となっており、全国的にみても非常に高い受診率を長年維持しております。

【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率（支部別）】（40歳以上）

≪令和元年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**84.6**
2	新潟	77.5
3	大分	76.8
全国		60.0

≪令和2年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**84.4**
2	新潟	77.7
3	富山	77.4
全国		59.0

≪令和3年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**86.2**
2	滋賀	79.3
3	新潟	79.0
全国		62.1

≪令和4年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**90.8**
2	島根	84.9
3	新潟	83.1
全国		65.2

≪令和5年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**89.8**
2	島根	82.8
3	大分	82.3
全国		64.8

【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率（支部別）】

≪令和元年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**41.1**
2	山梨	40.4
3	滋賀	34.3
全国		25.5

≪令和2年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**38.6**
2	山梨	34.3
3	滋賀	33.7
全国		21.3

≪令和3年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**41.3**
2	山梨	39.6
3	滋賀	38.4
全国		26.2

≪令和4年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**42.1**
2	山梨	41.6
3	滋賀	39.6
全国		27.7

≪令和5年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**43.4**
2	山梨	41.4
3	滋賀	39.4
全国		28.3

健診受診率は対前年度比で若干の減少

山形支部においては、被保険者・被扶養者共に全国トップの健診受診率を示しておりますが、対前年度比でみると被保険者については1.02％減少、被扶養者については1.29％上昇となり、被保険者と被扶養者を合わせた支部全体としては0.3％下げた81.9％となりました。

一方で全国平均の健診受診率は、被保険者については対前年度比で0.4％下げた64.8％、被扶養者については0.6％上昇して28.3％、全体としては昨年度と同率の57.9％となりました。

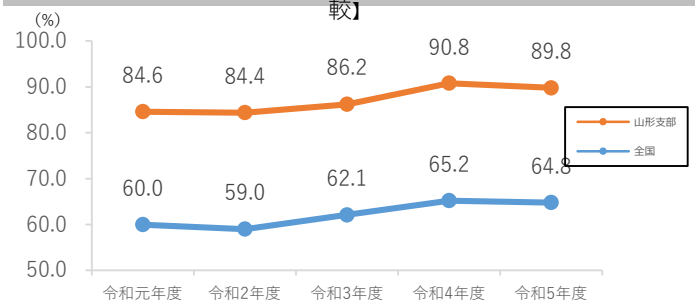
協会けんぽで実施している生活習慣病予防健診は、労働安全衛生法で定められている法定項目にがん検診の項目（肺ガン、胃ガン、大腸ガン）も加えたものとなっており、検査項目が充実しておりますが、法定健診と同等の金額でお受けいただけるように、令和5年度から費用補助率を引き上げました。その影響もあってか、受診いただく健診の種類を生活習慣病予防健診へお切替えいただき、生活習慣病予防健診受診者は増加となりました。

一方で、法定健診を受診された事業所からの健診結果の提供が昨年度よりも進まず、山形支部においては昨年度よりも若干数値を下げたものの、今年度に入ってからも順調に生活習慣病予防健診への切替が進んでいる状況です。

被扶養者への健診については、各自治体と連携した冬期健診や商業施設における無料オプション付き健診（特定保健指導を同時実施）等により、未受診層の掘り起こしにもつながり、受診率をあげることができました。

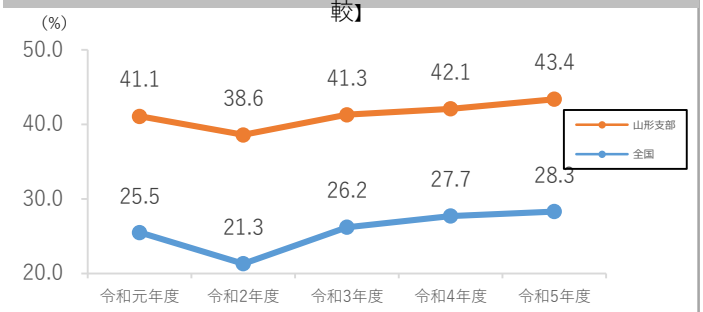
元来、山形支部の受診率が高い要因として、二次医療圏ごとに健診実施機関が充実しており、健診機関によっては勤務前早朝より健診を実施するなど受診しやすい環境が整っていることや、事業主の健康に対する意識が高いことが考えられます。

【山形支部及び全国の被保険者を対象とした健診の受診率比較】



	山形	全国	差
令和元年度	84.6	60.0	24.6
令和2年度	84.4	59.0	25.4
令和3年度	86.2	62.1	24.1
令和4年度	90.8	65.2	25.6
令和5年度	89.8	64.8	25.0

【山形支部及び全国の被扶養者を対象とした健診の受診率比較】



	山形	全国	差
令和元年度	41.1	25.5	15.6
令和2年度	38.6	21.3	17.3
令和3年度	41.3	26.2	15.1
令和4年度	42.1	27.7	14.4
令和5年度	43.4	28.3	15.1

健康を維持していただくために

近年、悪性新生物（がん）や糖尿病等の生活習慣病の有病者や予備群が増加しています。

疾病全体に占める悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病の割合は増加し、死亡原因
でも生活習慣病が約5割を占めている状況です。

このような状況下において、生活習慣病を引き起こすメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した検査を行う生活習慣病予防健診・特定健康診査を受診することは、ご自身の生活習慣を改善し、疾病発症の予防・早期発見を行ううえで非常に重要です。

山形支部では今後もさらなる受診率向上のために、健診受診の重要性について広く周知するとともに、加入者にとって受診しやすく、充実した内容となる取り組みについても推進してまいります。

なお令和6年度からは、被保険者向けの生活習慣病予防健診において一定年齢の際につけられるオプション健診である付加健診の受診対象年齢を、これまでの40歳、50歳の2回から、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳へ拡大しております。

また、健診受診後の行動（特定保健指導※の利用や医療機関への早期受診）の重要性についての周知や取り組みについても同様に推進してまいります。

山形支部の健診受診率が全国トップであることと健診受診の重要性について、ぜひ報道関係各所で取り扱っていただきますようお願いいたします。

※<特定保健指導>とは
健診を受けた結果、メタボリックシンドロームのリスクのある40～74歳までの方を対象に行う健康サポートです。健康に関するセルフケア（自己管理）ができるように、健康づくりの専門家である保健師または管理栄養士等が寄り添ってサポートいたします。

協会けんぽでは、加入者の皆様の健康の維持・増進を図るため、35歳から74歳までの被保険者の方を対象に、「生活習慣病予防健診」を実施しております。

また、40歳以上の加入者（被保険者・被扶養者）に対して、メタボリックシンドロームに着目した健診（特定健康診査）を実施しています。

山形支部 被保険者を対象とした健診受診率のバックデータ

※40歳以上

	対象者数（A）	受診者数（B）	受診率　（B)/(A)
令和元年度	166,383人	140,687人	84.6%
令和2年度	167,771人	141,557人	84.4%
令和3年度	168,880人	145,604人	86.2%
令和4年度	164,348人	149,263人	90.8%
令和5年度	164,909人	148,062人	89.8%

山形支部 被扶養者を対象とした健診受診率のバックデータ

	対象者数（A）	受診者数（B）	受診率　（B)/(A)
令和元年度	40,773人	16,756人	41.1%
令和2年度	39,788人	15,357人	38.6%
令和3年度	38,552人	15,913人	41.3%
令和4年度	35,479人	14,931人	42.1%
令和5年度	33,676人	14,612人	43.4%

山形支部の加入者数の推移

	被保険者数	被扶養者数
令和元年度	251,028人	145,699人
令和2年度	249,161人	142,044人
令和3年度	246,915人	138,043人
令和4年度	238,072人	130,970人
令和5年度	236,767人	126,172人

令和4年10月の制度改正により、国や自治体等に勤務する短時間労働者等が共済組合に移行したことで、被保険者数が大きく減少したが、それ以降も減少傾向が続いている。被扶養者数も減少傾向が続いており、減少率は全国平均よりも高い。

【直近5年間の健診受診率（被保険者・被扶養者合計の健診受診率）】

≪令和元年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**76.0**
2	山梨	68.9
3	新潟	68.4
全国		52.6

≪令和2年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**75.6**
2	富山	67.8
3	新潟	67.5
全国		51.1

≪令和3年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**77.9**
2	滋賀	70.6
3	富山	70.1
全国		54.8

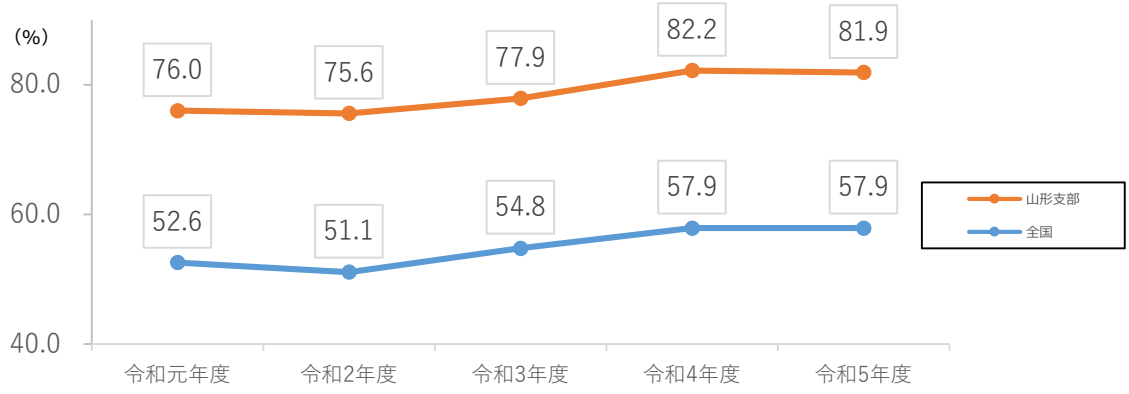
≪令和4年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**82.2**
2	島根	76.7
3	新潟	74.1
全国		57.9

≪令和5年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**81.9**
2	島根	74.9
3	山梨	74.3
全国		57.9

【山形支部及び全国の健診受診率比較】



(%)

	山形	全国
令和元年度	76.0	52.6
令和2年度	75.6	51.1
令和3年度	77.9	54.8
令和4年度	82.2	57.9
令和5年度	81.9	57.9

【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率（支部別・東北地方のみ）】

≪令和元年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**84.6**
10	宮城	71.4
14	岩手	69.6
15	青森	68.1
21	秋田	66.4
23	福島	65.7
全国		60.0

≪令和2年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**84.4**
9	宮城	71.5
12	青森	69.5
13	秋田	69.3
18	岩手	67.4
27	福島	65.0
全国		59.0

≪令和3年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**86.2**
10	岩手	74.8
12	宮城	72.8
13	秋田	72.1
16	青森	71.6
22	福島	69.3
全国		62.1

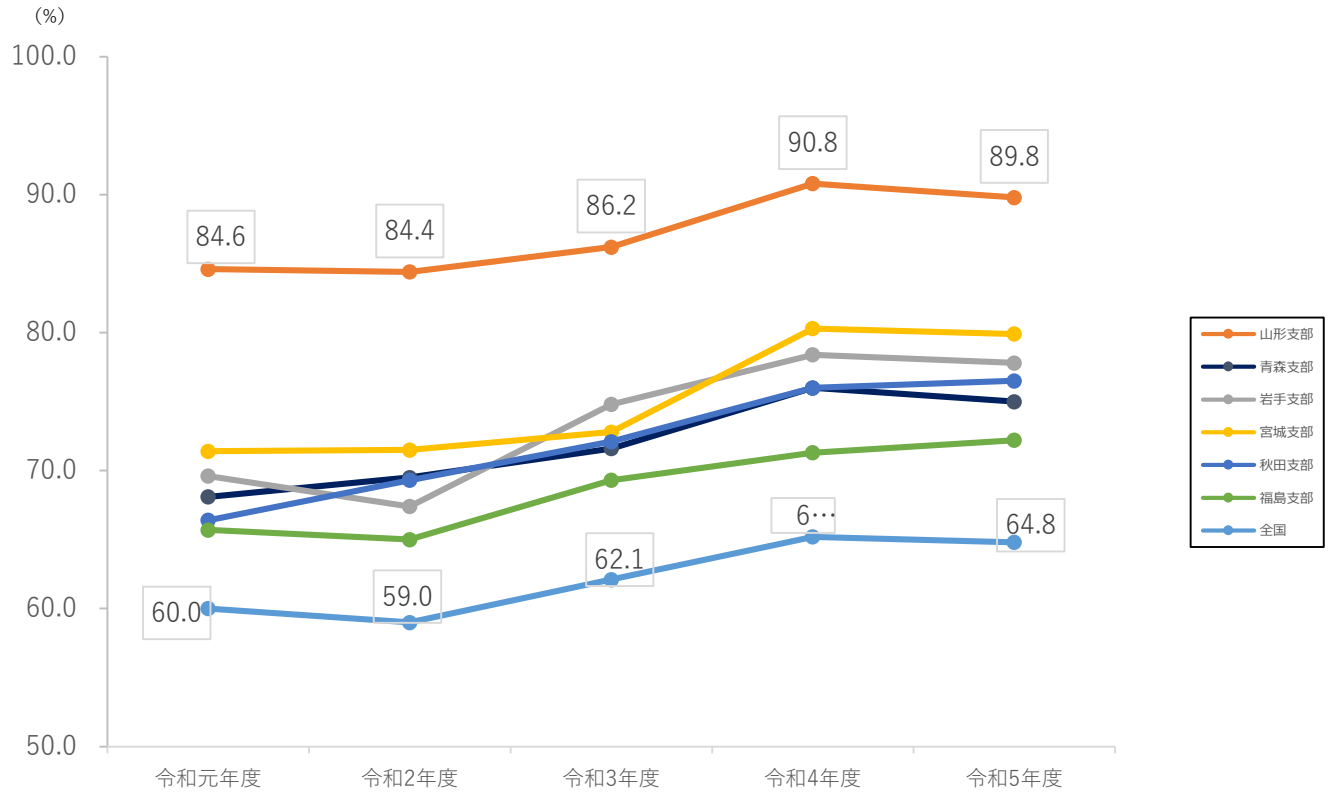
≪令和4年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**90.8**
9	宮城	80.3
12	岩手	78.4
14	秋田	76.0
15	青森	76.0
26	福島	71.3
全国		65.2

≪令和5年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**89.8**
9	宮城	79.9
13	岩手	77.8
15	秋田	76.5
17	青森	75.0
25	福島	72.2
全国		64.8

【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率比較（支部別・東北地方のみ）】



【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率（支部別・東北地方のみ）】

≪令和元年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**41.1**
5	宮城	32.9
14	福島	27.6
22	青森	26.0
24	秋田	25.5
28	岩手	24.9
全国		25.5

≪令和2年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**38.6**
10	宮城	26.1
12	青森	25.1
21	秋田	23.3
29	福島	22.3
31	岩手	21.9
全国		21.3

≪令和3年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**41.3**
9	宮城	31.1
20	秋田	27.1
24	福島	26.9
25	青森	26.8
40	岩手	23.9
全国		26.2

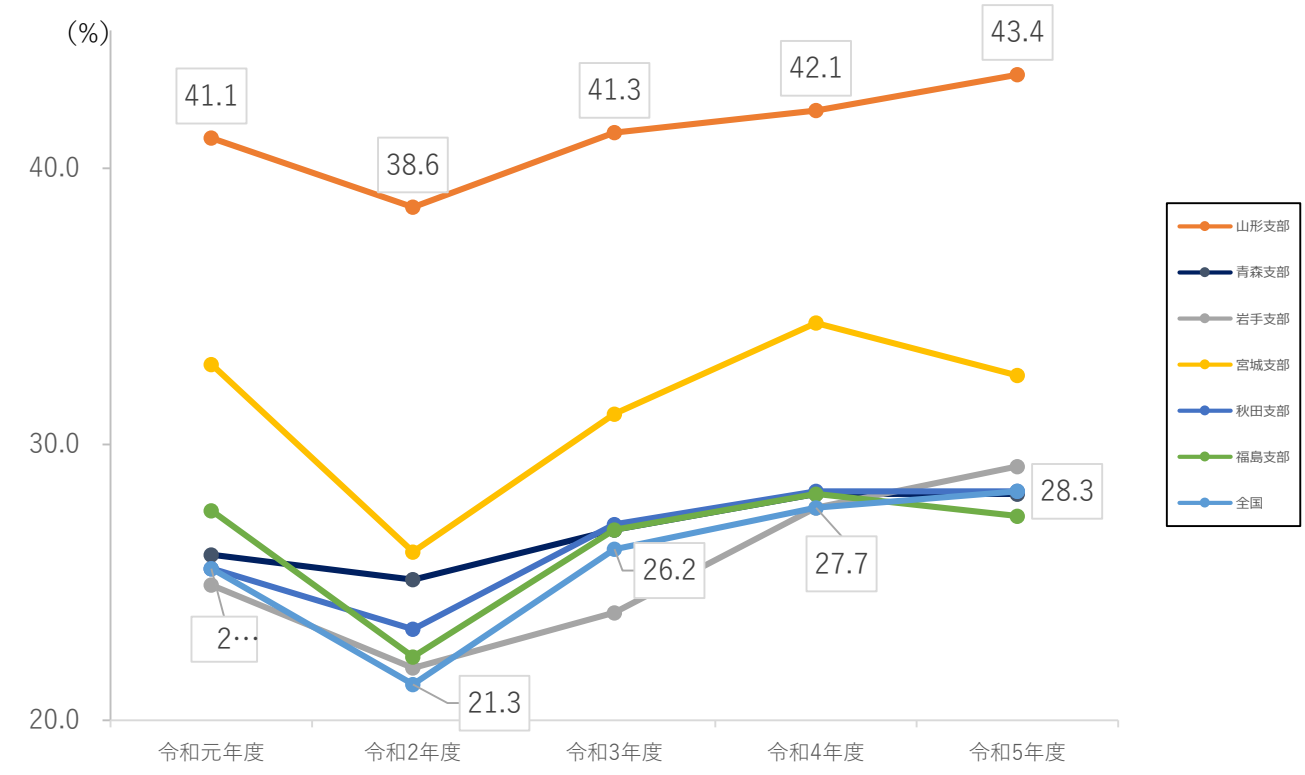
≪令和4年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**42.1**
7	宮城	34.4
25	秋田	28.3
26	青森	28.2
29	福島	27.7
30	岩手	27.7
全国		27.7

≪令和5年度≫

順位	支部	受診率
1	**山形**	**43.4**
7	宮城	32.5
21	岩手	29.2
25	秋田	28.3
27	青森	28.2
31	福島	27.4
全国		28.3

【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率比較（支部別・東北地方のみ）】



生活習慣病予防健診の検査項目

「生活習慣病予防健診」は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく「特定健康診査」の項目及び労働安全衛生法で定められた「定期健康診査」の項目がすべて含まれています。

また、がん検診のうち、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の項目を含んでいるのが特徴です。さらに令和5年4月より自己負担額の軽減を図り（軽減前最高7,169円→軽減後最高5,282円）、令和6年4月より付加健診の受診対象年齢の拡大を図っています。

■生活習慣病予防健診（一般健診）

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・診察等　・身体計測　・血圧測定　・尿検査　・血液検査 ・心電図検査　・便潜血反応検査　・胸部レントゲン検査 ・胃部レントゲン検査	35歳～74歳	最高5,282円

■生活習慣病予防健診（一般健診）の費用

協会けんぽからの補助 13,583円	自己負担額 最高5,282円	健診費用の約7割を協会けんぽが補助

最高　18,865円

■付加健診　※令和6年度から受診対象年齢を拡大

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・尿沈渣顕微鏡検査　・血液学的検査・生化学的検査 ・眼底検査　・肺機能検査　・腹部超音波検査	一般健診を受診する 40歳、45歳、50歳 55歳、60歳、65歳 70歳の方	最高2,689円

■その他の健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・乳がん検診（問診、乳房エックス線検査）	一般健診を受診する 40歳～74歳の偶数年齢の女性	≪50歳以上≫ 最高1,013円 ≪40歳～48歳≫ 最高1,574円
・子宮頸がん検診（問診、細胞診）	一般健診を受診する 36歳～74歳の偶数年齢の女性 ※36歳、38歳は子宮頸がん単独受診可	最高 970円
・肝炎ウイルス検査（HCV抗体検査、 HBs抗原検査）	一般健診と同時受診	最高 582円